

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 13日

事業所名 児童発達支援ルートちぐさ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	2	・午前午後2部制の採用 ・屋上園庭や空き教室を利用している	・児童が落ち着ける場所を確保したい <b>改善内容</b> ⇒限られたスペースの中で仕切りを使うなど工夫していきます。
	2	職員の配置数は適切である	3	3		・職員が少ないため、複数人の記録記入している。 ・なるべく1対1で対応できるように配慮しているが職員の休みが重なると対応に困る時がある ・もう少し人数が欲しいかな ・休みの職員がいると難しくなるので余裕を持った人数がいると良い。 <b>改善内容</b> ⇒休みが重なるとどうしても対応が難しくなっているのが現状です。職員が働きやすい環境を整える為に、法人内の異動や新規採用を検討実施していく予定です。ここで重要なのは、頭数での人材確保ではなく、ルートの療育方針に共感できる方、保育療育支援及び、保護者支援に対する理解と、専門的知識の探求心、向上心を常に持っていただける方を配置できるよう努力していきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	3		・トイレに浴槽やシャワーの設置がなく別の部屋に移動してお尻洗いをしているため不便を感じている。 <b>改善内容</b> ⇒浴槽やシャワーの設置については、保育園への配慮も含め工期期間が長い為、尻込みしているのが現状です。今後とも代替案も含めて検討していきます。  ・個別指導やプライバシー保護など集中できる空間の整備が必要 ・環境設定もう少し必要ではないか ⇒限られたスペースをどのように使っていくか、様々な利用児がいる中で個々に適した環境設定を都度模索していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	1		・お尻洗いなどに使用する浴槽の整備が必要 <b>改善内容</b> ⇒現在は園の浴槽をお借りして行っています。業者や園との工期を含むやりとりで尻込みしているため、代替案も検討模索していきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員同士話す時間がもっとほしい</li> <li>・こどもについて、もっと話す場を設けて支援を深めたい</li> <li>・話し合う時間があまりとれていない</li> </ul> <b>改善内容</b> ⇒主に朝礼や土曜日午後の時間を使い利用児の情報共有を行っています。より丁寧な支援をしていくため業務内容の整理を含めて話し合う時間を確保するため今後とも模索していきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0	・開所して1年目のため、今回より保護者に対して事業所の評価をお願いしています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	1	1	・開所して1年目のため、今回より実施予定です。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	1	・法人としてコンサルを導入しています	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	2	・STを招きOJTを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修回数や近隣事業所等、情報共有施設見学などを増やしてほしい</li> <li>・様々な研修に参加して知識を増やしたい。</li> </ul> <b>改善内容</b> ⇒左記のとおり、OJT形式で職員の資質向上を図る取り組みを行っていますが、特定の専門家からの意見だけではなく様々な視点を知る機会が提供できるよう検討します。
適切な支援の	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0		
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	1	1	アセスメント表改善中	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	0	・対象児の困り感やレベルを合わせた目標設定ができています	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0	・振り返りウィークを設けている	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	・週リーダーを設けて、みんなで話し合う時間を意識的に設けている	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	・14同意見	・工夫はしているが、繰り返し行う必要性のある活動は繰り返し取り組めるようにしたい。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	5	0		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
提供	17	6	0		
	18	2	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回振り返りの場を設けているわけではないが、職員間で情報の共有を行っている。</li> <li>・引継ぎボードを用いて特に伝えたいことを忘れないように共有ツールとしている。</li> <li>・朝のミーティングの際に前日の振り返り、気付いた点を共有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必ずではない？</li> <li>・時間確保が難しい</li> </ul> <b>改善内容</b> ⇒左記のとおり、限られた時間の中でどのように情報共有できるのか模索しながら取り組んでいるが完全ではありません。今後とも業務内容の整理も検討しながら、時間が確保できるよう努力していきます。
	19	6	0		
	20	6	0		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	5	0		
	22	4	0		
	23				
	24				
	25	5	0		<ul style="list-style-type: none"> <li>・共有できている部分もあるが、出来ていないことも多いので情報共有をして支援に繋げていきたい。</li> </ul>
	26	3	0		
	27	3	1		
	28	3	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・持った方が良い。</li> <li>・機会はありますがコロナの為に控えているのが現状。</li> </ul>
	29	2	2		
	30	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス記録を活用している</li> </ul>	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	1		
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0		・保護者からの相談など職員内でも共有しているが、相談できる場を増やしたい。 <b>改善内容</b> ⇒相談できる場については、相談内容によって「相談しやすさ(人)」「相談機会を提供(場所、時間帯)」など様々な視点からのアプローチが考えられます。利用者のニーズに合わせた環境設定ができるよう保護者の皆様からのご意見も伺いながら検討できればと思います。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	0	・親子行事 ・親子教室(ST講話)	・親子行事を通して保護者の交流を目指しているがまだまだ足りない部分も多いと感じる。保護者が交流しやすいよう促していきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6	0		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4	・開放デー開催	・開放デーを第2回目から行っていないので開催の仕方を考えて行いたい(相談の場作り) <b>改善内容</b> ⇒開放デーは地域に開かれた事業運営を目指すにあたり欠かせない取り組みの一つだと考えています。地域のニーズと参加する職員の負担軽減も含めて今後どのように開催できるのか一緒に検討していきましょう。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	0		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	2	2		・今のところ服薬等はなし
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	2		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	0	2		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。